

【第5次津島市総合計画】施策評価シート(2024年度)

施策コード	33
-------	----

まちづくりの方針	3 産業・環境・市民生活
施策	3 観光・交流
施策のめざす姿	津島駅から津島神社まで、市民のおもてなしや広域連携、新たなイベント、観光資源のネットワーク化などにより集客力が強化され、まちなかが周遊、散策する人でにぎわっています。

まちづくり指標	現状値 (2019年度)	実績値					目標値	
		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2025年度	2030年度
年間観光客数(万人)【産業振興課】	147	112	131	162			162	164

施策の方針	担当課	実績・成果
		今後の方向
1 関係・交流人口の創出【重点】	シティプロモーション課 産業振興課	つしまちあるきキャンペーンを利用し、多くの人が津島に来訪し、市内での消費を喚起した。 活用する地域資源やテーマを変えながら、「つしまちあるきキャンペーン」を定着させていく。
2 観光サービスの充実	産業振興課	新型コロナウイルス感染症の影響により、中止や縮小開催としていた、藤まつり、天王祭、秋まつりについて、観光協会や関係団体と連携し通常開催した。また、観光交流センターにおいても、地域の特性を活かしたイベントを通常開催し、観光サービスの充実を図った。 引き続き関係団体との取り組みを行う。
3 観光PRと情報発信【重点】	産業振興課 シティプロモーション課	当市が誇る祭り開催前に報道機関を訪問し観光PRと情報発信を行った。また、観光交流センターにおいて祭と市のPR動画を上映し、来館した方に対する情報発信を行った。 観光パンフレットの代わりとなる名刺サイズのカードを作成し、津島市の祭り等を市内外に広くPRした。 引き続き観光PRと情報発信の取り組みを行う。 引き続き関係団体との取り組みを行い、カードについては多くの方が手に取りたいくなるようなカードを作成し、市の魅力をPRしていく。
4 受入体制の充実【重点】	産業振興課	観光交流センターにおいて天王祭・秋まつり展示会を開催するなどの取り組みを行い受入体制の充実を図った。 引き続き訪れた方に楽しんでいただけるよう受入体制の充実を図っていく。

総括評価	施策のめざす姿の達成状況	評価
施策のめざす姿の達成に向けて今後必要なこと	常時観光客が立ち寄ることができる土産物店、飲食店などの設置や休憩場所の確保や、当市が誇る尾張津島藤まつり、尾張津島天王祭、尾張津島秋まつり以外の観光客を呼び込む仕掛けづくりが必要。	方針
		継続